

こども達、万博視察研修へ



令和7年8月 第137号



写真提供：南小国中学校、
教育委員会、ケーブルテレビ

あれは
どげなった？

シリーズ No. 6

こども達の 万博視察研修

を追跡取材！

3月定例会では、町が大阪・関西万博の「地方創生 SDGs フェス」に5月28日から6月1日までの期間でブース出展する際の**負担金 30 万円、ブース制作委託料 347 万円、こども達の万博視察研修費 1700 万円**を可決しました。

視察研修は、小学5年生から中学3年生までの145名、2泊3日の行程で、全額を町が負担しています。視察目的を「世界の最先端技術に触れて欲しい」「南小国のことを俯瞰して見てもらうキッカケになれば」と説明されていましたが、当初目的としていたことは果たせたのか？視察を通してどんな効果があったのか？こども達の感想もふまえて検証しました。

ブースには小国杉でつくった作品を出展



熊本県内で唯一の出展となった南小国ブースには、小国杉を使った体験型の装置を展示。からくりをまわして球が当たりの穴に入ると、町内産のお米やお肉の景品がもらえることもあり、ブースは終日賑わいを見せていました。

ブース制作は集落支援員の三舛正順さんと、地域おこし協力隊OBの寺世風雅さんに委託されました。

写真提供：教育委員会、南小国中学校



こども達の感想から見る研修の効果

縦割り班



中学生：普段の支えてもらう側から支える立場として経験できた。
小学生：中学生がてきぱき行動していてかっこよかった。感謝です！

町への誇り



県内唯一の参加なのがすごい！
万博会場で世界に発信していて、
南小国のパワーを感じた！

グローバル



文化の違い、戦争や食糧問題を
知り、世界が身近になった

世界の技術



最先端技術や伝統工芸品を五
感で知れて良かった

将来の視野



夢や仕事の選択肢はこんなに
あるんだと思った

引率された先生方から見る研修の効果

【南小国中学校 前田博治校長先生】

今回、未来の技術や世界の文化に触れ、「持続可能な社会」や「地域の魅力」といったテーマについて考える機会を得て、改めて南小国町の魅力を再発見することができました。また、縦割り班では、中学生が小学生をリードし支える場面もあれば、小学生の発想に刺激を受ける場面もあり、世代を超えた学び合いにつながりました。

【市原小学校 井上哲校長先生】

国際理解を深め、南小国の魅力を再発見する良い機会となりました。多様な文化や価値観に触れ、未来を体感し、SDGsへの意欲を高めることができました。縦割り班で中学生と活動することによる学びも多く、児童からは「自分も下学年のお世話ができる優しい上級生を目指したい。」等の感想が聞かれ、大変有意義な研修となりました。

結果

世界各国の文化や技術が一堂に会する万博会場において、世界を見て、また世界の中からの南小国を見て、こども達はそれぞれに大いに刺激と学びを得たことと思われます。教室を出て生きた学びの場となった万博視察研修は、町や教育委員会が期待されていたこと以上の効果があった素晴らしい取り組みだったと言えます。

令和7年度6月補正予算

1億2628万円を可決

	6月補正額	補正後予算総額
一般会計(第2号)	1億1330万円	58億3730万円
一般会計(第3号)	38万円	58億3768万円
国保特別会計(第1号)	127万円	5億6124万円
簡易水道事業会計(第2号)		
収益的収入	44万円	1億5864万円
収益的支出	207万円	1億6469万円
資本的収入	352万円	3億786万円
下水道事業会計(第1号)		
収益的支出	11万円	2億2803万円
資本的収入	519万円	2億3685万円

* 万円未満四捨五入

令和7年6月 第2回定例会

6月定例会が6月10日から12日の会期で開催されました。一般質問のあと、補正予算・条例の一部改正など(予算5・条例4・その他4)が審議され、すべて原案通り全会一致で可決・承認されました。

一般会計 主な補正予算

(万円)

一般会計(第2号)	
部分林地元交付金	1584
LPガス使用世帯支援事業補助金	944
世代交代・初期投資促進事業補助金	900
製造・加工事業者創出促進事業補助金	3000
路面下空洞調査業務委託	972
中学校屋外防火水槽改修工事	1008

● 一般会計補正予算(第2号)

主な審議

○製造・加工事業者創出促進事業補助金

▼森永議員 町としてのどのような製造品・加工品を期待しているのか。

【答】 今までは農協や直売所などに出荷するしかなかった農産品・畜産品や自家消費しているジビエ肉を加工することで付加価値を加え、完成品として外に出していければと考えている。

▼佐藤議員 補助の条件が「創業から3年以上経っていること」、「今後も3年以上継続する意思があること」、「税金の未納がないこと」となっているが、今後の売上高や取扱高の目標を条件に入れる必要はないのか。また製造・加工業以外で3年以上経営されている方が経営拡大で新たに製造・加工業を始めるような場合でもこの補助の対象になるのか。

【答】 業績の目標値を条件にする予定はないが、補助金申請の際は直近の確定申告書並びに決算書の提出を求めることとしている。なおこの補助金は製造・加工業の業態実績が3年以上あることが条件となっているため、経営拡大による新規参入は対象にならない。

▼下城議員 精米事業者は機械の更新に苦慮しており、予算面の理由で廃業する方もいる。精米事業はこの補助金の対象になるのか。

【答】 この補助金は「付加価値を加えた加工品や完成品を製造すること」を対象としており、精米事業のみでは対象にならない。

▼穴井秀房議員 補助金の交付を受けたあと、3年以内に万が一、経営難などで廃業を余儀なくされた場合はどうなるのか。

【答】 補助の条件を引き継ぐ形で次の方に経営が譲渡されるのであれば補助金の返還は求めないが、そうでない場合は請求する。

○路面下空洞調査業務委託

▼北里議員 調査の内容と期間は。

【答】 今回は主に公共施設と下水処理場間の調査を行う。1次調査では観測機器を車でけん引し、道路を走りながらレーダーで調査する方法を考えている。疑わしい場所は2次調査としてハンディ型のレーダーで調査をかけ、空洞が確認できた場合には舗装に穴を開けてスコップによる調査を行う。調査期間は1次調査の結果次第になるので明確には分からない。

○市原保育園仮設保育

▼井野議員 市原保育園の改修工事に伴う森園園舎(旧グループホーム森園)での仮設保育の内容は。また先生たちの負担増への対策はどう考えているのか。

【答】 再入札を行ったため当初の計画から1週間ほど遅れることとなったが、6月16日から8月8日まで仮設保育を実施する。森園への送迎が可能な1歳児と2歳児17名が対象であり、給食は市原保育園で作って配達する。先生方には負担をかけることになるが、保育課長と主任で出来る限りサポートしていきたい。



市原保育園森園園舎

○旧グループホーム森園改修工事設計業務委託料
▼森永議員 施設の利用開始までのスケジュールはどうなっているか。また調理室の改修も含まれるのか。

【答】 改修工事には社会資本総合整備交付金を活用したいと考えており県に申し込んでいるところだが、令和8年4月以降に着工する事業が対象となっており、その分施設の供用開始が遅れることとなる。交付金の採択を待つのか、それとも単独事業として早期完成を目指すのか現在検討している。調理室については、図書スペースに併設されるカフェスペースに、簡単な調理施設と机を設置して利用できるようにしたいと考えている。

○ふるさと花火大会補助金
▼井野議員 打ち上げ場所を山村広場に変更することになった理由は。

【答】 今までは杉田の河川敷が打ち上げ場所になっていたが、民家との距離も近く、広域消防本部や花火業者から場所の変更を求めていると再三申し出があった。まだ山村広場で許可が下りた訳ではないので、引き続き関係機関と調整を進めていきたい。
○世代交代・初期投資促進事業補助金
▼後藤議員 対象者の人数

と補助の内容は。
【答】 対象者は1名で、畜産の新規就農者。肉用牛の導入と畜舎建設に対し国と県から補助金が交付される。
○部分林売却収入
▼穴井則之議員 申請があっている造林組合の数と伐採の内容は。
【答】 大字満願寺の作ヶ倉造林組合の部分林で、92,333㎡の皆伐を行う。材積は4,703㎥を見込んでいる。

●簡易水道事業会計補正予算(第2号)

主な審議

○志童子水源防犯フェンス修繕
▼井野議員 この水源は以前、水量不足により休止になったと記憶している。再開にあたって何世帯を賄う予定なのか。

【答】 過去に水量不足と若干の濁りが確認されたことから予備水源として取り扱ってきた。今後の水質検査で再開可能かどうか最終的に判断したい。給水範囲は志津地区と志童子地区を想定している。



志童子水源

●条例制定

◆中小企業・小規模企業振興条例

内容

中小企業及び小規模企業の成長と持続的発展並びに地域経済の活性化を図ることで、町民の生活の向上に寄与することを目的とする条例。
(原案可決)

●条例改正

◆税条例の一部改正(専決処分)

改正内容

主に地方税法の改正に伴うもので、インターネットによる公示送達や、原付1種の新区分の軽自動車税に係る改正など。

◆国民健康保険税条例の一部改正(専決処分)

改正内容

課税限度額の見直し及び軽減の対象となる世帯の判定所得額の見直しに係る改正。

◆議会委員会条例の一部改正

改正内容

総務文教常任委員会の所管になっていた「まちづくり課の事務に関する事項」を経済建設常任委員会に移管する。
(承認・原案可決)

●陳情

◆中原川堤防道路の整備(舗装)に関する陳情書
提出者 中原自治会長
(委員会付託)

◆各市町村議会における防衛議員連盟設立に関する要望書
提出者 熊本県議会防衛議員連盟会長

●その他

◆町道の廃止について
◆町道の認定について

路線名 町道松ノ木線
起点 大字赤馬場遠見塚
終点 大字中原地蔵原
(原案可決)



佐藤 毅 議員

Q 出生数を増やす取り組みを

A 町の宝、国の宝を増やす取り組みを進める

問 出生数を増やすためにはまず結婚が前提。近年の婚姻届数と今年度の出産予定数は。

町長 窓口受理ベースで、令和3年が9件、4年が16件、5年が11件、6年が10件。出産予定数は6年度と同数の11人を見込んでいます。



問 中学生にも少子化問題を考えてもらいたい。自分の人生を思い描く時間を取れないか。

教育委員会事務局長 限られた時数の中で厳しい状況。ただ、家庭生活を営む授業の中で、体験者を招いて子育てや移住の話聞く等の事業は可能か。

問 町として結婚支援サポートの実施は。

町長 阿蘇都市の首長間で

話が出た。情報を集め、協議していく。気軽に参加できる異業種交流会も検討中。

問 結婚への経済的支援、新生活支援や結婚応援金制度等の事業の実施は。

町民課長 独自の支援策を検討中。

町長 国の施策を活用しながら、結婚に対する祝金等、協議していく。



過去に実施したイベントのチラシ（一部抜粋）

Q ライドシェアの導入の計画はあるのか

A 地方創生伴走支援官*と協議を行う（※地方の課題解決を支援する国の職員）

問 タクシー事業者の業務縮小や高齢化により免許返納により交通手段の空白化が問題となり総務省や国交省伴走支援により昨年より進んでいるが本町でも導入の計画があるのか。

町長 地域公共交通は、路線バス補助、にじバス、タクシー等の配布や小国郷ライナー等の事業により利用者には高い満足度を得ている今後地方創生伴走支援官と協議し問題解決に向けて取り組む。



北里 桂一 議員

Q デジタル田園都市国家構想総合戦略について

A 4つの目標と7つの戦略を掲げている

問 本年度3月に出されたデジタル田園都市国家構想総合戦略について、前期の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の結果を踏まえ継続する事業や今後の5年間の具体的なアクションプランがあるのか。

町長 総合戦略の取り組みとして4つの目標と7つの戦略を掲げている。例として目標1地域資源を生かした仕事については、環境保全と第一次産業の強化・農業競争力支援事業等21の施策と30の重点事業を掲げて

いる。

まちづくり課長 日本で最も美しい村づくり事業、夢チャレンジ推進事業についてはKPI（目標指数）を設定して効果検証を行っている。

問 大規模災害や台湾有事の際の避難所等の確保や協定等の予定はあるのか。

総務課長 現段階では阿蘇市町村で1300人の受け入れとなっているが協定等については現在考えていないが他の災害時には今後考えていく。

Q 登下校時、小中学校生は安全か？

A 通学路安全推進協議会で通学路の安全確保を図っている

問 突然、登下校時の小中学生の列に不審車両などが突っ込んできた事故は記憶に新しいと思う。町民全体として、防犯危機意識の高揚を図る取り組みをすると安全、安心の一助になるかと考え、その対策を問う。

町長 町の宝である子どもたちの安全を守るために平成27年12月に南小国町通学路交通安全プログラムを策定し各小中学校教職員、PTA、教育委員会、小国警察署、道路管理者、町の防

教育委員会事務局 通学路安全推進協議会で対策が可能かハード面とソフト面で協議し、地域の見守り事業の方や防犯パトロールの方々にパトロールをしていただいている。



後藤 六男 議員

Q 町の水は大丈夫ですか？

A 原水箇所全てで検査結果は安全

問 私達が毎日使う生活用水は大丈夫ですか？南小国町は筑後川の源流としての社会的責任も含め安全性と美味しさを求められている。そのためにもまず一番に水質検査、二番目に不法投棄を許さない管理体制の強化、三番目に町民が水と川を大切に守るマナーを行政として取り組みをしてほしい。

町長 当町は豊富な水資源と美しい自然に恵まれており、未来へとつなぐためには官民一体となりしっかりと環境保全を行う必要があると思う。河川の水質検査は年2回、8か所で行い環境保全基準を満たしている。不法投棄防止はパトロール調査を行い、防止看板を設置するなどその都度対応している。

建設課長 当町はフッ素化合物の検査を原水箇所全てで60万円以上かけて行い結果は安全です。また新たな新規水源も含めて継続的に検査をやっていききたい。



下城孔志郎 議員

Q 町の人口増加対策について

A 独自の支援策を考えていく

問 人口増加対策は町外からの移住定住と町内での出産の二つだと思う。特に住む家の確保が重要だと思うが、空き家、民間アパート、建築の為の土地の確保等々、担当する課でそれぞれは担当職員を任命すべきではないか。

町長 今後はまちづくり課や建設課等それぞれが連携してやるべきと思っています。



子育て支援ひろば「ぬくもり」

問 2つ目には町内での人口増加を促す対策ですが、主婦が主婦業として生活できるように現在の児童手当に加えて町の予算で子ども一人当たり18歳まで1万円の子育て支援金を出したらと思うが如何か。

町長 頂いたご意見も参考にしながら、南小国町らしい独自の政策、子育て支援策は何なのかを考えていきたいと思っています。





森永 一美 議員

Q 宿泊税は導入する？

A 導入に向けた検討委員会を設立する

問 今年度の施政方針で、入湯税や宿泊税の必要性を言及されていた。宿泊税の検討状況はどうなっているのか。

町長 宿泊税は新たな町の財源になり得る。有識者を交えた検討委員会の設立準備をする。

問 美しい里山の風景は観光資源でもあるが、町民が尽力し維持できていると思う。観光客の方にも負担いただく仕組みが必要ではないか。景観整備や環境美化から準備したい。

を用途とした宿泊税を導入することで観光客にも還元できる持続可能な仕組みになるのでは。使途としてどのようなことを考えているか。

町長 道路沿いの整備や二次交通、観光客の防災も必要。検討委員会でも意見がでると思うが、訪れた方が心地よく過ごせる環境づくりが基本で、観光客へ還元できることが大切。進め方など他の自治体を踏まえながら準備したい。



令和7年3月に策定された「南小国町観光基本計画」でも宿泊税に関する意見があげられている



← 観光基本計画の概要版はこちらから

Q きよらカアサの町特産品が少なくなっている。出荷者の利便性のために運搬方法等を検討すべきでは？

A 出荷量は減少している。関係団体と協議し構築に取り組む

問 出荷者の高齢化や運転免許返納等により、野菜等は作っているのだが運搬手段がなく出荷をあきらめる方がいると聞く。総務省の実証実験もあるので日本郵政等と協議検討し運搬手段を確立できないか。これにより、きよらカアサの賑わいとともにも高齢者の生きがいの創出になると考えるが如何か。



きよらカアサの野菜コーナー

でも検討をしているところ。持続可能な仕組みの構築に向けて前向きに取り組む。

Q きよらカアサの冷凍庫の活用は？

A 現在は使用していないが効果的な運用を急ぐ

問 昨年度予算で購入した冷凍庫が未使用となつているがどうしてか。多額の公費を使い購入した物である。早急に改善すべきであり、今後の対策を行うべきであるが如何か。

町長 指摘の冷凍庫は未稼働の状態。理由が二つあり、①現在利用者との調整が終わっていないこと、②取扱量が少なく現在は使用すること。今後7年度月上旬に

稼働開始をめざし調整している。運用開始後は活用状況の検証と情報発信を随時行っていく。

問 同時に購入した、冷蔵庫、米の色彩選別機の利用についても使用状況の把握や使用価格等も検討し、情報発信を適正に行い、利用者が使いやすいものとするべきでは。

町長 利用者目線で検討し早急に考えていく。

Q 小中学校の現状と今後の教職員確保は

A 学校と連携し、先生たちを大事にする取り組みに注力していく



井野 和哉 議員

問 町内における障がい者手帳の発行数は、福祉課長 種類が3種類あり、身体障がい者手帳が190名程度、療育手帳が60名程度、精神障がい者保健福祉手帳が35名程度である。

問 交付を受けていない方を含めると、300名を超える方が町内で生活をされている。町ではタクシー利用補助を行っているが、対象が小国郷内限定で、阿蘇市や熊本市内への通院は交

問 町内の小中学校の先生方は、勤務時間内に翌日の授業の準備をする時間が確保できているか。

教育長 毎日の授業時間が6時間あり、それを一視するのは厳しく、時間外にせざるをえない。

問 1日の勤務時間内に休憩時間が取れているか。

教育長 1日の勤務時間内に割り振られてはいるが、十分に取れていないというのが実感である。

問 先生方の精神的な安定

と、ゆとりのある職場環境こそが子どもたちの人格形成、学力向上には必要不可欠なことだと思う。今後、職場環境、優秀な教職員確保に、どう取り組んでいくのか。

町長 町独自の人的支援により、職場環境の向上及び授業力向上の支援で、教職員のバックアップを行っており、優秀な町雇用学校支援員を確保するために処遇改善を行っていく。

Q 障がい者の負担軽減のため、ガソリン代補助を

A 質疑をいただきながら、町としての方向性を考える

問 町内における障がい者手帳の発行数は、福祉課長 種類が3種類あり、身体障がい者手帳が190名程度、療育手帳が60名程度、精神障がい者保健福祉手帳が35名程度である。

問 交付を受けていない方を含めると、300名を超える方が町内で生活をされている。町ではタクシー利用補助を行っているが、対象が小国郷内限定で、阿蘇市や熊本市内への通院は交

町長 交通空白地域が町内にあり、そのあたりも含めて内部で協議し、総合的に判断していく。

問 障がい者本人、家族の方の負担軽減ができる取り組みをお願いしたい。

町長 この町に合った公共交通の在り方、再編を協議していく。

Q 循環型農業の取り組みを

A 町の農業の柱の一つとして考えている



穴井 則之 議員

問 町の農業は多くの課題を抱えている現状ではあるが町の農業の在り方として、環境への負荷を軽減し資源の再利用など持続可能な農業を目指す、循環型農業を町の農業の方向性としてブランド化していくことはできないか。

町長 町としての農業の在り方や、考え方のものをブランド化していくという視点については、大変有意義であり今後の農政の柱の一つとして方向性を示していく必要があると認識している。

問 資源の循環性を目的とした持続可能なコンポストの取り組みは。

町長 まずは実証的にやりながらコンポスト自体を知っていただく事が必要ではないかと思う。



※コンポスト
家庭から出る生ごみや落ち葉などを土と混ぜ、微生物の働きで分解させて作った堆肥を「コンポスト」と言います。なおこの堆肥を作る容器は「コンポスター」と呼ばれています。

問 コンポストは竹粉を混ぜる事も有効とされるが、竹林の整備を兼ねて竹の大型粉碎機を町で購入できないか。

町長 今後いろいろな情報をいただきながら協議をしていきたい。

小国郷公立病院組合議会

佐藤 毅

《持続可能な医療提供へ》

小国郷公立病院組合は、運営する小国公立病院について、建物の建替えを含めた将来の医療提供体制の検討を始めることを、6月9日に公立病院組合議会で、翌10日に南小国町議会で報告をされました。

建物は築40年で、配管や空調設備等の修繕費が増加しており、診療室の構造がスタッフの動線に合わなくなっているため、これらのことや今後の医療提供体制を踏まえ、診療科や病床数を検討し、建替えや移転を今後考えていくことが示されました。

今後の協議内容等についても、町民の皆様にも共有できるようにしていきます。



台北（3区）交流会報告

井上 則臣

この度、台湾（台北市内3区）と阿蘇北部3町村の交流会に参加して参りました。

本町からは町長・議長・まちづくり課職員が参加し、北投（ペイトウ）温泉で有名な台北の北投区役所を訪問。区長さん・各担当課長さんと意見交換をして交流を深めて参りました。

北投温泉は、1895年に金鉱探しに訪れた平田源吾氏が湯治治療の為土地を購入し松寿園を開設したのが始まりで、日本と台湾の歴史の深い繋がりを再確認しました。現在では南アジアを代表する温泉地になっています。

この北投区と観光温泉を切り口として何らかの形で連携を取り、子ども達の国際感覚を育てる交流の場になればと思いました。

国際情勢が不安定な今、隣交が文化・習慣の違いを乗り越え、安定の源になると信じています。



1 番左：熊谷議長（小国町）
中央：井上議長（南小国町）
右から2 番目：西澤議長（産山村）

議会研修を終えて

北里 桂一

去る5月30・31日に議会研修として大阪市の大阪・関西万博と神戸市の「人と防災未来センター」へ視察に行っていました。

まず1日目の30日は、本町からブースを出展している大阪・関西万博の“地方創生SDGsフェス”を視察。小国杉を使った体験型の装置はそのゲーム性も楽しめるうえに南小国町産の米などが当たることから大人気であり、本町のブースには常に行列ができていました。なお28日には町内の小学5・6年生と中学生も研修で訪れており、改めて南小国町と小国杉のすばらしさを再認識する良い機会になったと思われます。

2日目の31日は神戸市にある「人と防災未来センター」を視察しました。平成7年に起きた阪神淡路大震災はマグニチュード7.3、避難者数31万6000人、家屋全壊約10万世帯、被害世帯46万世帯、死者6434人という大災害であり、今年で30年を迎えます。センター内には災害当時の街並みを再現したセットや記録が展示されているほか、地震に関する体験型のコーナーがあり、防災意識の高揚を図る取り組みが随所に設けられていました。

近年災害が多様化しているなか、他の市町村においては防災倉庫の準備や避難所・備蓄品の確保が進んでいます。本町でも今一度災害に対する備えを考える時期であると痛感しました。

防災未来センター（西館）



○印の部分は南海トラフ巨大地震で想定されている高知県黒潮町での津波の最大波高（高さ34.4メートル）

令和7年 議会日誌

5月	17	南小国中学校体育大会
	20	南小国町商工会総会
	27・28	全国町村議会議長・副議長研修会
	29	国道57号整備促進期成会総会
		中九州・地域高規格道路推進期成会総会
	30・31	議員研修(大阪・神戸)
6月	31	南小国町防災会議
	2	議会運営委員会
	3	町村議会議長会臨時総会
	10～12	第2回定例会
	12	議会広報調査対策特別委員会
	27	県庁阿蘇会
7月	28	ほこすぎ会
	30	阿蘇広域行政事務組合臨時総会
	2	第75回社会を明るくする運動
	10	経済建設常任委員会
	14	総務文教常任委員会
	17	議会広報調査対策特別委員会
8月	17	きよら祭り実行委員会
	22	正副委員長研修会
		経済建設常任委員会
	24	議会広報調査対策特別委員会
	29	正副議長・常任委員長・議会運営委員長研修会

大阪万博ブース出展の立役者

みます まさゆき 三舛 正順 さん

プロフィール

広島県出身、千光寺在住。
九州大学建築学科に在学中、旧星
和小にある木材加工機・ショッ
プボットを利用するために南小国
を訪れる。大学4年生の前期で休
学し、地域おこし協力隊に着任。
木材利活用やファブラボ運営、南
中ファブクラブなどを行う。

3年間の任期を経た現在、集落支
援員として小国杉を使った建築分
野で活動中。



てらせ ふうが 寺世 風雅 さん

プロフィール

大阪府出身、下鶴在住。
三舛氏と大学の同期。同じタイミ
ングで休学し、北海道で木工をし
ながらアーティスト活動開始。そ
の後、南小国の地域おこし協力隊
に就任。
「ドクター杉太郎」として小国杉
で玩具やおもちゃを発明製作し、
町内外でこども達が小国杉に楽し
く触れる機会を提供。ユーモア溢
れる作品は全国メディアでも紹介
される。

…万博ブースに出展された作品に ついて教えてください。

イメージテーマは「小国杉と水の旅」です。雨が降っ
て、木が育ち森になる。森で涵養された水が飲用水や温
泉といった恵みになる…。そんな南小国の中で「水」が
巡っていることを小国杉で表現したいと思いました。

ただ置いて展示するだけでなく、来られた方に体験し
て楽しんでもらいたいと思い、「水」をイメージした水
色の球が装置の中を巡り、当たりの穴に入ると景品がも
らえる仕掛けを作りました。

企画や仕掛けは寺世、全体の構造は三舛、とお互いの
得意分野を担当しました。イメージを描いてCADで設計
して、できたところから順に製作して作りあげました。
作品が完成したのは出展1週間前でした。

完成した作品は全部分解して、万博会場に搬送して、
現地で組み立てました。作品は大掛かりですが繊細なの
で、特にデリケートな歯車のパーツは自分の車に乗せて
自分の手で万博会場まで運びました。

…万博の出展を終えていかがでし たか。ご感想を。

寺世さん：ゲーム性を持った装置なので、確率の調整が
大変でした。実際に出展して「万博会場で一番面白かつ
た」という声を聞いたのは本当に嬉しかったです。「南小
国ブースが面白いと聞いたので」と来られた方もいました。

三舛さん：南小国ブ
ースが一体感のある盛り
上がりを見せていたの
が本当に良かったです。
お客さんも当たりを
願っている、スタッフも
盛り上げて、列に並
んで見てる方も一喜一憂される…。ブース全体のテンション
が上がっている感じでした。体験して楽しんでもらい、そし
て南小国を知ってもらおうという流れを作れて良かったです。



作品は役場に展示してあるのでぜひご覧ください。

写真提供：三舛正順さん／取材・文：穴井秀房・森永一美



7月も中旬に入ろうとしています。例年
であれば梅雨末期の大雨の心配が始まる頃
ですが、今年は異常に早い梅雨明けとな
り、照りつける太陽と蝉時雨の中、農業を
する私は日々伸びる草との格闘が続く毎日
です。

米の高騰のニュースが続いています。私
的な意見ではありますが、小規模ながら米
を生産する農家としては、現在のような消
費者の手に届かない米価は希望するもの
ではありません。皆が美味しい米を安心して
食べられることを望みます。島国である日
本では数少ない自給できる食料である米の
継続的な生産ができ、食料を確保すること
は現在の世界情勢から大変重要な事だと
考えます。消費者、生産者ともに安心でき
る政策を望みます。

この議会広報が皆様に届く頃には参議院
の選挙も終わり、今後の日本の行方が見え
るかも知れません。よりよき日本となるよ
う切望します。
(穴井秀房)

発行責任者

議長 井上 則臣

広報調査対策特別委員会

委員長 森永 一美

副委員長 井野 和哉

委員 穴井 秀房

委員 北里 桂一